

AGCO WEST ROTARY NEWS LETTER



上尾西ロータリークラブ

創立 1973 年 3 月 28 日

会長 : 中村 次男
幹事 : 齋藤 幸一
S.A.A : 水野 正男

副会長 : 小岩井 忠
副幹事 : 関根 雅

クラブ広報委員会 : 新井 登志彰 関根 雅
磯 早苗 今井 正
北川 健一

フェローシップ委員 : 8 月度 川田 淳也 北西 琢磨 9 月度 福崎 菊夫 小島 徳



国際ロータリー第 2770 地区インターアクト委員会 委員長 小林 篤様

卓話
インターアクトクラブ
設立に向けて

インターアクトクラブ設立に向けて、国際ロータリー第 2770 地区インターアクト委員会 小林篤史委員長、同青少年奉仕統括委員会鳥井吉兼委員長にお越しいただきました。

主役は高校生、ロータリーは伴走者

小林様から、国際学院中学校高等学校でのインターアクトクラブ設立に向け、ロータリアンがどのように関わるべきか、具体的な事例を交えてお話しいただきました。インターアクトクラブは、高校生が地域や世界のために奉仕活動を行いながら、自ら考え、行動する力を育てる成長の場です。そのため、活動の主役はあくまで高校生であり、ロータリーは活動を管理するのではなく、「できるように支える伴走者」であることが大切だと説明されました。ロータリアンの役割は、「見守る・つなぐ・称える」の三つ。例会や活動に足を運んで生徒の話を聞き、奉仕先や地域の課題、職業人などのご縁をつなぎ、活動発表の機会や拍手、広報を通じて生徒たちの自信を育てます。一方で、ロータリーがすべてを決めてしまったり、顧問の先生に任せきりにしたりするのではなく、生徒が考える余白を残しながら、学校側の負担を軽減するバランスが重要です。



同 青少年奉仕統括委員会 委員長 鳥井 吉兼様

設立後の最初の 90 日には、学校・生徒・ロータリーの担当者による顔合わせを行い、校内や近隣で取り組める小さな奉仕活動を一度実施し、その成果をロータリー例会で発表することが提案されました。その後も月に一度程度の交流を継続し、校長先生や顧問の先生、生徒とのコミュニケーションを絶やさないことが、クラブを長く活性化させる鍵となります。岩槻高等学校インターアクトクラブの例として、緑の募金や赤い羽根共同募金、地域のお祭り、駅前清掃、ポリオ募金、韓国のインターアクターとの短期交流など、多彩な活動が紹介されました。地域のお祭りでは、高校生自身が「野菜の詰め放題」を企画・運営し、その売上を震災支援に寄付したそうです。最後に小林様は、「高校生の『やってみたい』を、地域の『ありがとう』へつなげる。そのための伴走者がロータリーです」と呼びかけられました。新たなクラブをつくることだけを目的とせず、高校生が奉仕の喜びを知り、将来につながる経験を得られるよう、上尾西ロータリークラブとして支えていくことの大切さを学ぶ卓話となりました。



Rotary  2026-2027 年度「持続可能なインパクトを生み出そう」

例会日 : 毎週水曜日 12:30 ~ 13:30 例会場 : 上尾東武ホテル ルミナス 事務局 : 上尾市谷津 2 丁目 1 番 34 号 日和ビル 4F



President's Message

心に残る経験を、次の世代へ

本日は多くの皆様にお越しいただき、ありがとうございます。また、先週の夜間例会にも多くの会員の皆様にご参加いただきました。熊本地震の募金活動にも、休日の時間を使ってご協力いただき、心より感謝申し上げます。8月に入り、夏休みや高校野球など、若い人たちがさまざまなことに挑戦し、汗を流す姿を目にする時期となりました。ここで皆さんにお聞きます。一昨日の夕飯に何を食べたか、覚えているでしょうか。日常の何気ない出来事は、時間がたつにつれて忘れてしまうものです。以前、RI会長のメッセージの中で、「人は、あなたが言ったことや行ったことは忘れてしまうかもしれない。しかし、あなたによってどんな気持ちになったかは忘れない」という趣旨の言葉が紹介されていました。私たちも、若い頃に体験したことや、そのときに抱いた「将来はこうなりたい」という思いが、今の自分につながっているのではないのでしょうか。今回、私たちが設立を目指しているインターアクトクラブも、単に新しい組織をつつくるということではありません。子供たちに奉仕活動を体験してもらい、行動する喜びや、地域や世界をより良くしたいという思いを伝えることが大切だと考えています。私たちとの活動を通じて得た経験や感動が、若い人たちの心に残り、将来の成長につながっていくかもしれません。青少年を育てることは、未来に強い思いを残すことでもあります。本日は地区からのお話をしっかりと伺い、今後の活動につなげていきたいと思ひます。



2026-2027 年度会長
中村 次男君

Secretary's Notes

幹事報告

- ・9月5日、青少年奉仕セミナーを大宮ソニックシティで開催。
- ・熊本地震支援金として、一人1,000円の協力をお願いします。
- ・8月29日、米山関係の歓迎パーティーを開催。
- ・10月5日、地区チャリティーゴルフコンペを開催。
- ・今月最終例会は移動例会です。未回答の方は出欠登録をお願いします。



幹事 齋藤 幸一君

Club Topics

米山奨学金授与

2025-2027米山記念奨学生ファミティハウさんに米山記念奨学金が授与されました。授与後のスピーチでは、初めての富士登山では不安もあったものの、仲間



の励ましを受けて登ることができたと報告。また、地震支援の募金活動にも参加し、日頃から支えてくれる皆様への感謝を伝えました。

Today's Guest

本日のお客様

インターアクトクラブのパートナーとなる、国際学院高等部全日制課程 教頭大野彰久様にご挨拶いただきました。参加を呼びかけたところ、生徒6名が集まり、説明を受けた生徒たちは、期待に満ちた表情を見せていたそうです。学校としても活動を推進していきたいとお話いただきました。



国際学院中学校高等学校 高等部
全日制課程 教頭 大野彰久様

Make Up

鴻巣イブニングロータリークラブ様

上尾西ロータリークラブ同様、インターアクトクラブの設立を検討されている鴻巣イブニングロータリークラブより、津田ひろみ会長、中村由春幹事、鈴木祐介直前会長のお三方にご来会いただきました。ありがとうございました。



鴻巣イブニング RC の皆さま

Club Topics

新会員入会式

既に入会が決定していた久保田凛君の入会式が執り行われました。ご入会おめでとうございます。



久保田 凛君

Attendance Update

出席報告

本日7月8日の例会は以下の通りでした。

会員数 31 名
対象会員数 26 名
出席者数 23 名
免除出席者数 4 名
出席率は 76.6%



出席委員会委員長 齊藤 一雄君

Snapshots



例会風景



青少年奉仕委員会委員長 紅谷旺司君



S.A.A 水野 正男君



スマイル報告 今井 正君

SMILE BOX

本日の総額 32,000 円

今年度累計 97,000 円

大野様、鳥井様、小林様、津田様、中村様、鈴木様、本日は例会にお越しいただきありがとうございました。久保田さん上尾西 RC によろそ！

鳥井吉兼様・小林篤様・津田ひろみ様・中村由春様・鈴木裕介様・中村次男会長・齋藤幸一幹事・小岩井忠副会長・関根雅副幹事・日吉千穂重君・大貫等君・齊藤一雄君・小山清君・新井登志彰君・水野正男君・田邊利幸君・河原畑光一君・川田淳也君・福岡菊夫君・紅谷旺司君・本田幸司君・高橋昌弘君・郡司貴江君・三浦宏典君・今井正君・北川健一君・北西琢磨君・久保田凛君